

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院看護学研究科						
教育プログラム・コース名	がん看護専門看護師コース（正規課程）（テーマ①）						
対象職種・分野	看護師・がん看護学						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護専門看護師の資格取得を目指す</li> <li>・がん診療連携拠点病院で活躍する高度実践がん看護専門看護師</li> <li>・地域や在宅に根差したがん医療施設と連携し活躍できる看護師</li> <li>・緩和ケアの実践ができる看護師</li> <li>・がんゲノム医療に対応した看護を展開できる看護師</li> <li>・がんに関する予防や教育に対応できる看護師</li> </ul>						
修了要件・履修方法	共通科目(A)8単位以上、共通科目(B)6単位、専攻分野共通科目9単位以上、専攻分野専門科目8単位以上、実習科目10単位以上及び研究指導科目4単位を取得し、学位論文と最終試験に合格すること						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;共通科目A：看護研究（2単位）、看護理論（2単位）、看護倫理（2単位）を含む8単位以上、</p> <p>共通科目B：フィジカルアセスメント（2単位）、病態生理学（2単位）、臨床薬理学（2単位）の合計6単位</p> <p>専攻分野共通科目：がん看護論、がん看護学特論・演習等、9単位以上専攻分野専門科目：症状マネジメント等を含む8単位以上</p> <p>実習科目：がん看護学実習（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）10単位以上、研究指導科目：看護課題研究4単位</p>						
がんに関する専門資格との連携	がん看護専門看護師（日本看護協会）の教育課程として認定						
教育内容の特色等（新規性・独自性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護学領域の教員が中心となって運営し、精神看護学、小児看護学、地域看護学、老年看護学らの看護系教員のほか、医科学専攻教員、認定遺伝カウンセラーが連携した講義や実習を通して幅広いがん領域に関する最先端の知識と技術を習得する</li> <li>・病院や地域など実践活動を行っているがん看護専門看護師による直接の講義を増やし、在宅看護、高齢者のがん看護、小児・AYA世代や遺伝など、がん看護におけるあらゆる課題に対応できる看護師を育成する</li> <li>・看護における現象や臨床的な課題を研究し、成果を社会に還元できる専門看護師を育成する</li> </ul>						
指導体制	福島県立医科大学大学院看護学研究科がん看護学領域の教員を中心に、精神看護学、小児看護学、地域看護学、老年看護学の教員および、腫瘍内科、緩和医療科、消化器外科、消化器内科、放射線治療科、乳腺内分泌科、血液内科などの各々の領域の専門医、認定遺伝カウンセラー、専門看護師が協働し講義・演習を行う。実習指導は、本学附属病院をはじめ、福島、宮城、青森のがん看護専門看護師と本学医科学専攻の医師と連携し、医療機関・訪問看護ステーションにおけるがん看護実践・緩和ケアを提供できるがん看護専門看護師を養成する指導体制としている。						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年後にがん看護専門看護師資格取得</li> <li>・福島県を中心に東北圏内及び新潟県内ののがん診療連携拠点病院や地域の中核病院、在宅ケア施設、訪問看護ステーション等に勤務し、がん看護専門看護師として従事し、がん看護実践のリーダーとして活動する</li> </ul>						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
<small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に履修したコースに限る。</small>	0	1	1	1	1	1	5
受入目標人数設定の考え方・根拠	県内の9つのがん拠点病院のうち半数以上にがん看護専門看護師が配置できていないため、核施設に最低1人ずつの配置を目標にすると、在宅ケアにおけるニーズも合わせ、今後最低5名の養成が必要である。最近の大学院志願者数から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定する。						